

平成30年度 大垣市立北中学校 学校経営計画

I 学校の教育目標

人間性豊かな実践力のある生徒

自律：正しい判断のもと行動する生徒
 忍耐：とことんやりぬく生徒
 共生：人のために動く生徒
 〈スローガン〉 耐えよ 続けよ 思いやれ

〈めざす生徒像〉

〈めざす教師像〉

- 自分の目標に向かって、主体的に学ぼうとする意欲あふれる生徒
- 自分の言葉で物事を判断し、豊かに表現できる生徒
- 自他を大切に尊重し合い、いじめや偏見や差別を許さない生徒
- 高い志をかかげ、目標の実現に向かって努力を惜しまない生徒

- 一人ひとりの生徒に目を向け、生徒の心を受け止め、自己実現を支援できる教師
- 常に自己研鑽を積み、教育者として専門性を発揮し、絶えず、向上を目指し、自己変革できる教師
- 互いにしっかりと、連携し、目標に向かって組織的に動き、地道な実践を丁寧に粘り強く取り組むことができる教師

II 学校経営の方針と重点

<真に一人ひとりの生徒を大切にする教育の創造>
 ~どの子もかけがえのない、なくてはならない生徒に~

- 一人ひとりのかけがえのなさを実感し、確かな学力を育成する。
 - ・一人ひとりを大切にした授業を充実し、学ぶことの喜びを育てる。
- 人権尊重が気風がみなぎる教育活動を推進し、豊かな心を育成する。
 - ・共存の感情と信頼関係に裏打ちされた学級、学年集団を育てる。
 - ・よさの発見と承認に取り組み、自己存在感、自己有用感を育てる。
- 北辰の誇りを身に付け、発揮し、積極性と行動力を育成する。
 - ・「挨拶」「掃除」「合唱」「聴く・語る」取組を核にして、凛とした気風漂う校風を育てる。



III 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・目標値
①	確かな学力の育成	基礎学力の定着と主体的・対話的に深く学ぶ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりを大切にした授業を目指し、徹底した授業改善と思考が深まる学び合う学びの確立に取り組む。 ○基礎学力の確かな定着と低学力の生徒へのきめ細かい指導援助に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、必ず課題やポイントを提示し、終末時には学び深めの場を設定する。 ・授業では、必ずペアやグループ、集団での話し合いの場を効果的に位置付ける。その際、思考が深まるようコンテンツを取り入れる。 ・考えて書く活動を位置付け、考えを明確したり、整理したりして習得を図る。 ・数学、英語では、TTを実施し、個に応じたきめ細かい指導援助を行う。 ・Iプリントを活用して計画的に単位時間の定着テストや単元テストを実施する。 ・一人ひとりの理解の程度を把握し、個に応じた補助資料を提示する。 ・朝、夕学習や夏季休業日に補充学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の授業ではじめに授業の目標が示されていると回答する生徒を98%以上にする。 ・普通の授業で終末に学習内容を振り返る活動を行っている回答する生徒を95%以上にする。 ・普通の授業では自分の考えを発表する機会や書く活動、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思うと回答する生徒を99%以上にする。 ・TTの授業はよく分かると回答する生徒を85%以上にする。 ・先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれると回答する生徒を98%以上にする。

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・目標値
		主体的・自律的な学習態度の育成と学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の徹底と学習習慣の確立に取り組む ○主体的に読書しようとする指導の充実と習慣化に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方を作成し、聴く・語る姿を徹底してつくりあげる。 ・学習委員会のギネスの取組を通じて、聴く・語る姿の定着と習慣化を図る。 ・北辰の記述や家庭学習の（時間・目安）を考慮し予習復習を徹底する。300/400 分の活用 ・家庭学習の手引きの改善と活用を図り、家庭における自律的な学習を促進する。 ・朝読書や読書励行に努め、読書の習慣化を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答する生徒を90%以上にする。友達の話や意見を最後まで聴くことができるかと回答する生徒を98%以上にする。 ・家庭学習で予習・復習を1時間以上する生徒を80%以上にする。 ・読書は好きだと回答する生徒を80%以上にする。
②	豊かな心身の育成	豊かな心身とよりよい人間関係の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○マナーや規範意識を身に付けさせるとともに、生徒理解に努め信頼関係を深めることに取り組む。 ○自他の大切さを実感できる環境づくりに取り組む。 (いじめの早期発見と早期対応の徹底) (不登校を出さない組織と支援体制の確立) ○生徒会活動の充実と行事へ活気をもたせることに取り組む。 ○ボランティア活動を推進し、学校と地域の連携に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時、授業、部活動において、全員が進んで挨拶ができるように指導を徹底する。 ・北中人権宣言や人権の5観点を核とした全校集会を学期毎に実施する。 ・昼の放送を利用し、キラリ（よさ）を紹介する。 ・朝、帰りの会で仲間のよさを認め合う場を位置付ける。 ・生活アンケートを年4回実施し、生徒の悩みを把握する。同時に教育相談を実施し、早期対応に努める。 ・帰りの会が終わっても10分程度は教室で待機し、気軽に相談できる雰囲気や生徒の相談を聞く。 ・毎週金曜日、主任会を実施し、生徒の情報交換と対応について検討する。 ・プロフェッショナル掃除を目指し、師弟同行で清潔な学校環境を整備する。 ・生徒会が中心となり、日常活動やスポーツ、合唱、北辰の集いの内容を充実し、生徒の達成感、充実感につなげる。 ・地域からの学校支援と学校からの地域支援の双方向のボランティア活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北中の生徒は、よく挨拶をしていると回答する生徒・保護者、地域関係者を90%以上にする。 ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答する生徒を100%にする。 ・自分にはよいところがあると回答する生徒を85%以上にする。 ・友達に会うのは、楽しいと回答する生徒を98%以上にする。 ・先生は悩みや話を聞いてくれると回答する生徒を95%以上にする。 ・自分には、よいところがあると回答する生徒を80%以上にする。 ・自分は進んで掃除に取り組む、校内美化に努めていると回答する生徒を98%以上にする ・みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったと回答する生徒を98%以上にする。 ・今住んでいる地域の行事に参加していると回答する生徒を85%以上にする。
③	多忙化の解消	適切な労務管理と勤務の適正化の確立 教育への信頼度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革プランの実行と検証に取り組む。 ○北中教育への満足度の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤、退勤時間を把握し、時間外業務の縮減を図る。 ・早期退勤日の設定と徹底を図る。（毎週水曜日） ・8ターム制による業務の精選と部活動の休養日を設定する。 ・ホームページの随時更新と学校便りを通じて情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均残業時間を月70時間以内にすする。 ・早期退勤日は、19時までに全員が退校する。 ・部活動は、平日1日、休日1日以上以上の休養日をルール化する。 ・北中の教育に満足していると回答する生徒を85%以上にする。